

## 表現の仕方(P28)

どんな様子になるのかを書いてね！  
写真もいいですね。



記入例

記入日( 年 月 日)

<うれしいとき>

<困ったとき>

(例) 両親には話せる。両親以外の人の前ではもじもじとしている。声をかけると答えられる。

<怒ったとき>

(例) 「いや」と大きな声で言う。

<不安なとき>

(例) 部屋の端の狭い隙間に行く。

<悲しいとき>

<つらいとき>

<その他>

## こだわり・パニックについて(P29)

記入日( 年 月 日)

<きっかけ> 起きる状況など

(例) 大勢の人が集まっている場所に行くと、泣き出す。

<行動・様子>

(例) 両親に強くしがみついて泣く。その場から逃げ出したいような様子がある。

<起きないようにする工夫> 予防方法など

(例) 前もって、「今から〇〇へいくよ」と伝えておく。

<起きたときの対応方法> 落ち着く方法

(例) その場から離れる。  
好きな音の出る玩具を持たせると落ち着く。

- ・この欄は、具体的な子どもの姿(表情や声、動作など表現の仕方)や対応を書きます。
- ・安心できる相手(両親、祖父母、支援者)や環境なども書いておきます。状況によって違いがある場合には、そのことも書いておくとわかりやすいですね。
- ・大人が子どもに禁止を伝える時、本人に伝わりやすい言葉などもあれば書いてください。(「ダメ」という言葉は受け入れづらい子ども、両手でぼつ×を作ると聞き入れてくれるということもあります。)